

# 江東区の木材利用

## 木の歴史あるまち

第二大島中学校では、廊下や階段、天井にも木材を使用しています。

### 江戸の木場から、現在の新木場まで木材と共に発展

- ・江戸幕府により、①江戸市中に近い②人口が少なく大火の心配がない③水運の便が良いことから、永代島（現在の福住・佐賀・深川1丁目あたり）が材木置場に選ばれました。
- ・元禄14年（1701）、材木置場は木場に移転し、その後、関東大震災や戦火などを乗り越え、昭和50年代に新木場に移り、木材加工・流通基地として発展し、現在に至ります。



木場の旧野木場

### 公共施設に木材0.008m<sup>3</sup>（床面積1m<sup>2</sup>あたり）を利用

- ・「江東区公共建築物等における木材利用推進方針」を策定しています。
- ・公共建築物の新築・改築時に、床面積1m<sup>2</sup>当たり原則0.008m<sup>3</sup>以上の木材を利用することを、推進しています。
- ・木材利用による森林の適切な整備、木材産業の振興、木の良さの理解促進、民間事業者への波及を期待しています。
- ・木材利用の実績 単位：m<sup>3</sup>/m<sup>2</sup>

香取小学校・きっずクラブ：0.033

第二大島中学校：0.023

豊洲シビックセンター：0.0085

こどもプラザ：0.014



天井（第二大島中学校）

## こどもの頃から、木とのふれあいを大切に

- ・木は調湿効果や吸音効果に優れているだけでなく、人の心を和ませる等の健康面における効果も認められています。
- ・区では、こどもたちが木とのふれあい出来るよう小中学校・義務教育学校等で、建物の主要構造部分に木材を使用する木造化や、内装及び外装に木材を使用する木質化を行っています。



地域交流スペース（こどもプラザ）



絵本・図書コーナー（こどもプラザ）

## 木材は、地球温暖化対策にも役立っています

- ・木材は、二酸化炭素を吸収し、炭素を長期間にわたり貯蔵する機能特性を有しているため、地球温暖化の防止に大きく寄与しています。また、木材を利用することにより木の持続的な生産が可能になり、効果が続きます。
- ・「チーム江東・環境配慮推進計画：地球温暖化対策実行計画事務事業編（令和2年度～令和11年度）」では、区が取り組む管理指標の一つとして、木材利用 $0.008\text{m}^3/\text{m}^2$ 以上の新築・改築施設の割合100%達成を目標としています。

## 木を使う温暖化対策



こどもプラザでは、木を使った多目的スペースで、体を動かして遊ぶことができます。

